
道と牛飼いと子供と旅人と君のこと

キップル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

道と牛飼いと子供と旅人と君のこと

【Nコード】

N4384I

【作者名】

キップル

【あらすじ】

道と牛飼いと子供と旅人と君のことです。

二十代に書いたものですね。

七五調です。

羊歯や下草いつぱいの
ジャングルの中 ずっと奥
ワライカワセミ 啼くところ
バクが散歩をしてました
だんだん道が出来ました
獣が通って踏みならされた
きれいな道になりました

きれいな道は 森を出て
都会の方に延びました
独りがちよつと寂しくて
みんなの方へ行きました

広い野原の真ん中で
良い牛飼いに逢いました
連れてる牛も 良い牛でした
とつても疲れた牛飼いは
カンカン照りの道端に
ぺったり腰をつきました
道はとつても気の毒で
木陰を作つてあげました
涼しい風も呼びました
傍に泉も湧きました
牛と牛飼いや 喜んで
ゆっくり疲れを取りました

牛飼いはまた 牛を牽き
何かに祈って 行きました

も少し行った 畑の側で
小さな子供に逢いました
めそめそ泣いてる 男の子
しくしく泣いてる 女の子
道はとつても気の毒で
迷路を作つてあげました
おっかなびっくり 二人の子供
迷路の中で 行ったり来たり
いつでも一緒に 行きました

どこも不思議な部屋ばかり
お花が咲いた 春の部屋
真っ白だらけ 冬の部屋
小鳥が歌う 朝の部屋
なんだか怖い 夜の部屋
嫌な臭いの 憎しみの部屋
何にも持たない 思い遣りの部屋

やっと出口に着いたころ
呼んでる声がしてました
めそめそ泣いてた 男の子
しくしく泣いてた 女の子
二人は元気に 返事をする

走つて家に 行きました
大人になって 行きました

もう少し行つた 崖の側
旅する人に逢いました
帰るところがない人は
淋しく道を 行きました
生きてることで辛すぎて
ヒトに疲れた旅人は
崖つぷちまでやつて来て
谷底見下ろし 泣きました
誰かの名前を 呟いて
やっと心を決めました
戻れぬ道を往きました

道は何にもできません
ずっといっしょに いてあげました
夜になつても いてあげました

道はくねくね延びました
小高い丘を乗り越えて
小河を渡り 山を廻つて
ようやく街に着きました

大人がいつぱいおりました
車がビーと 過ぎました

ざくざく足音してました
見えない鳥が 飛びました
ボンと爆弾落ちました
街は静かになりました
それから少し 待っていると
風の音しかしませんでした

道はすやすや眠りに就いて
誰かが来るのを待ちました
何万年も待ちました

.....

苔や木漏れ日いっぱい
ジャングルの中 ずっと奥
蠅取草の咲くところ
君が散歩をしてました

道はひっそり黙ったままで
君が来るのを 待ちました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4384i/>

道と牛飼いと子供と旅人と君のこと

2010年10月28日08時37分発行